

令和元年度 事務事業総点検シート(1)

[令和元年度事務事業(新規)]

特別会計		事務事業分類			新規
事務事業名	介護予防「あ・し・た」プロジェクト事業			シート番号	A 一般事務事業 11-272
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進 課 評価責任者(課長名) 阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 31 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度) 堺市超高齢社会に対応するための地域包括ケアシステムの推進に関する条例			
5	事業実施の経緯	要介護高齢者の増加に伴い、介護給付費が増大する中、本市の要介護認定率は全国平均、大阪府平均よりも高く、特に要支援の認定率において差が大きいことから、要支援予備軍へアプローチする効果的な取組が求められている。そのため、要介護状態に至る前の、加齢に伴う身体的機能や認知機能の低下である「フレイル」の防止に資する介護予防プログラムを提供することで、高齢者の自立生活を維持することを目的に、令和元年度から令和3年度までの3か年の取組として本事業を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input checked="" type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他(ボランティア団体)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	主に要介護認定を受けていない元気高齢者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	要介護認定を受けていない元気高齢者を対象に、要介護状態に至る前の、加齢に伴う身体的機能や認知機能の低下である「フレイル」の防止に資する介護予防プログラムを提供することで、高齢者の自立生活を維持する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	元気高齢者を対象に、あるく(身体活動)・しゃべる(社会参加)・たべる(食生活)のフレイル予防要素に基づく介護予防プログラムを実施することで、介護予防につながる行動変容を促進し、自身で介護予防に取り組むきっかけを作る。 事業実施に当たっては、民間資金を活用して民間のノウハウやアイデアにより社会的課題の解決を図り、成果に応じて対価を支払うSIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)の手法を活用することで、活動内容の固定化や活動場所の確保、担い手不足等の課題に対し、多様な事業を展開するとともに、事業の評価検証で得られるデータを今後の介護予防事業に反映させる。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 民間企業等				

Ⅲ. 投入量

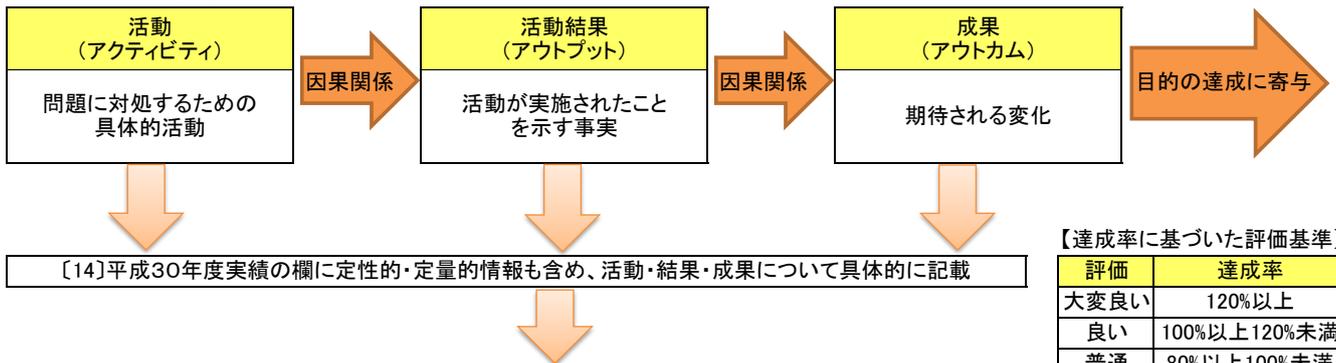
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	0	0	0	2,000	
	主な事業費内訳	委託料	千円				2,000
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				750
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(被保険者保険料)	千円				1,000
	一般財源	千円			0	250	
12 人件費 (b)	千円	0	0	0	3,350		
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	5,350		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	介護予防「あ・し・た」プロジェクト事業	シート番号	11-272
--------------	---------------------	--------------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績																															
14																															
15	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #ffff00;">目標</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>事業の開始に備えて事業者公募や業者選定、参加者募集を行う。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">目標に対する実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標										事業の開始に備えて事業者公募や業者選定、参加者募集を行う。										目標に対する実績									
目標																															
事業の開始に備えて事業者公募や業者選定、参加者募集を行う。																															
目標に対する実績																															
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #ffff00;">目標</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">目標に対する実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標																				目標に対する実績									
目標																															
目標に対する実績																															

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。